



蒲郡記者クラブ 各位

博物館長 竹内真治

企画展

「三河地震と戦争と-体験談から迫る「隠された大災害」-」の 開催につきまして

昭和20年1月13日午前3時38分に発災し、三河地方南部を中心に大きな被害があった「三河地震」を取り上げます。今年には三河地震発災から80年、会期中に81年目を迎えます。昨今の地震の頻発もあり、過去の経験から、今後起こると言われている南海トラフ地震への対策の一助となればと思います。

令和7年は、終戦から80年の年でもあります。三河地震は終戦の年に発災し、大きな被害があったにもかかわらず、その惨状が広まって国民の戦意が失われることを恐れ、軍部の指導によって新聞やラジオで大きく取り上げられることがなく、近年まで「隠された地震」とも呼ばれてきました。企画展では、蒲郡を中心とした戦争に関する資料も展示する予定です。

今回の展示の目玉は、副題にもあげた「被災された方々の体験談」の紹介です。三河地震から60年目を迎えた平成17年に、名古屋大学地震火山防災研究センターが「三河地震60年目の真実」という書籍を出版しています。この中で、当時名古屋大学の先生をされていた林能成（はやしよしなり）さん（現：関西大学）、木村玲欧（きむられお）さん（現：兵庫県立大学）によって「被災者から体験談を伺い、それをもとに体験画を描く」という試みがなされました。今回は林、木村両先生からの許可をいただき、蒲郡市内の被災された方6組の方々のヒアリング記録と共に、体験画を一同に展示いたします。

また、蒲郡の中で最も被害の大きかった形原町の方々が中心となって、昭和52年にまとめられた「わすれじの記」に掲載された体験談も紹介します。

記

日時 令和8年1月10日（土）から2月23日（月・祝）まで
（毎週月曜日・第3火曜日は休館） 10時00分～17時00分

場所 蒲郡市博物館 1階 特別展示室



【関連イベント】 ※すべて事前受付不要、入場無料です。

- ・講演会「三河地震と南海トラフー地震に対する備えー」 博物館1階 ギャラリー
1月17日(土) 13時30分から14時30分まで
講師：名古屋地方気象台 地震津波火山防災情報調整官 大西星司さん
- ・「三河地震紙しばい劇場」 博物館2階 研修室
1月18日(日) 13:30から14:15まで
「隠された災害 三河地震の記憶」 形原五七巳午会紙芝居同好会
1月25日(日) 11:00から11:30まで
「じしんはおそげえ」 金沢ヒューマン文庫を愛し守る会
- ・地震体験車「なまず号」が博物館にやってきます！ 博物館 正面玄関前広場
1月31日(土) 10時から15時まで (随時受付)
三河地震など、実際に起こった地震を体験できます。
- ・ギャラリートーク(展示解説) 博物館1階 特別展示室
2月1日(日) 13時30分から14時30分まで

問合せ 博物館 担当：松田 0533-68-1881



企画展

三河地震と戦争と

—— 体験談から迫る「隠された大災害」 ——



発災直後の形原町内の様子(撮影/宮村攝三・提供/兵庫県立大学 木村玲歌・関西大学 林能成)

令和8年

1月10日[土]~2月23日[月・祝]

休館日:月曜日・第3火曜日(祝日は開館)

開館時間:10:00~17:00(入館は16:30まで)

入場無料

蒲郡市博物館

〒443-0035 愛知県蒲郡市栄町10番22号

[蒲郡駅南口より徒歩10分 駐車場300台(市民会館と共用)]

TEL(0533)68-1881 FAX(0533)68-1880 <http://www.city.gamagori.lg.jp/site/museum/>

博物館HP



三河地震と戦争と

—— 体験談から迫る「隠された大災害」 ——

昭和20年(1945)1月13日午前3時38分、寒い冬の暗がりの中で三河地震は発災しました。この地震はいわゆる内陸直下型地震で、蒲郡市を含む西三河南部(安城市・西尾市・幸田町)の比較的狭い範囲において、死者2,306人、全壊家屋7,221棟、半壊家屋は16,555棟という甚大な被害をもたらしました。また、この地震は戦争中に発災したため、国民の士気低下につながるよう軍部によって情報統制され、「隠された地震」とも言われてきました。

こうした状況から、現存する文書や写真資料は限定的でしたが、平成15年(2003)以降、名古屋大学地震火山防災研究センター(当時)によって震災体験者への聞き取り調査、そして調査に基づく体験画の作成が行われました。蒲郡市内でも6名の方が調査に協力され、体験画とともに地震発災時の貴重な証言が得られています。今回の展示では、当時調査を担当された木村玲歌(兵庫県立大学)、林能成(関西大学)両氏からご提供をいただき、こちらの資料を一同に紹介します。

また、これから起こりうる南海トラフ巨大地震に対する最新の防災、減災対策についても紹介します。本企画展の会期中に、三河地震は発災から81年目、同じ直下型地震として関西地方に大きな被害を与えた阪神・淡路大震災も、発災から31年目を迎えます。身近に起こりうる大災害にどう備えるか。体験談を通して、また最新の防災、減災対策から、日ごろの備えについて考える機会となればと思います。



三河地震の波形を計測した
[今村式二倍強震計]
[岐阜県博物館 所蔵]



塩津村(蒲郡)に在住の男性が
三河地震の体験を記した「昭和の三河震災」
[竹谷町総代区 所蔵(当館寄託)]



「家の下敷きになった母親と救助する兵士。2人の子供は亡くなった。」



「夜が明けると、見慣れたはずの道には背よりも高い段差が出来ていた。」



「国民学校の運動場には、負傷して手当てを待つ人の列が続いた。」

関連 行事

■講座

「三河地震と南海トラフ —地震に対する備え—」

名古屋地方気象台地震津波火山防災情報調整官 大西星司氏
1月17日(土) 13:30から14:30まで 場所: 博物館1階 ギャラリー

■ギャラリートーク(担当学芸員による展示解説)

2月1日(日) 13:30から14:30まで 場所: 博物館1階 特別展示室

■三河地震 紙しばい劇場

- 1月18日(日) 13:30から14:15まで 場所: 博物館2階 研修室
「隠された災害 三河地震の記憶」 形原五七巳午会紙芝居同好会
- 1月25日(日) 11:00から11:30まで 場所: 博物館2階 研修室
「じしんはおそげえ」 金沢ヒューマン文庫を愛し守る会

■地震体験車「なまず号」による地震体験

1月31日(土) 10:00から15:00まで(随時受付)

場所: 博物館正面 玄関前広場



地震体験車「なまず号」

●開催中のイベント●

令和7年度 ひなまつりスタンプ・シールラリー

令和8年1月31日(土)から3月8日(日)まで

県内32館が参加するスタンプラリーです。

今年から、3館賞が2回受け取れる新ルールを設定!
これまで以上に多くの景品をお受け取りいただけます。

参加館(一部)

蒲郡市博物館・豊橋市二川宿本陣資料館・商家駒屋(豊橋市)
田原市博物館・田原市渥美郷土資料館・幸田町郷土資料館
岡崎市旧本多忠次邸・岡崎むかし館・奥殿陣屋(岡崎市)
安城市歴史博物館・西尾市資料館・西尾市岩瀬文庫
旧糟谷邸(西尾市)・一色まなびの館(西尾市) ほか

令和8年1月10日[土]~2月23日[月・祝]

休館日: 月曜日・第3火曜日 祝日は開館

開館時間: 10:00~17:00(入館は16:30まで)

入場無料

蒲郡市博物館

〒443-0035 愛知県蒲郡市栄町10番22号 TEL(0533)68-1881 FAX(0533)68-1880

[蒲郡駅南口より徒歩10分 駐車場300台(市民会館と共用)] <http://www.city.gamagori.lg.jp/site/museum/>

博物館HP

